



はじめまして

神戸大学大学院国際文化学研究科に設置されている日本語教師養成サブコースに関連する業務を担当させていただいている中村堯と申します。ご存知の方もいるかも知れませんが、以下に簡単なプロフィールを紹介します。

- 名前:中村 堯(なかむら ぎょう)
- 出身:長崎県長崎市
- 趣味:バレーボール・旅行・研究!?
- 好きなもの:コーヒー・タルタルソース



現在は言語接触や方言に興味をもって研究活動を進める傍らで、週に2日、日本語教育関係の学生支援員として勤務しています。

私自身も2022年4月に国際文化学研究科の博士課程前期課程に入学し、副専攻として設置されている日本語教師養成サブコースを履修していました。修士課程の2年間は本当にあっという間で、2024年3月にサブコース修了認定証をいただくことができました。当時は、その年の4月から某国立大学で事務職員として働くことが内定していたのですが、なんとその2ヶ月前に内定を辞退しました。修士論文も提出し終え、研究ともすっかりお別れするつもりだったのですが、人生は何があるかわからないものですね……。なぜ内定を辞退したのか?と言うと、「日本語教育の世界に導かれているような気がしたから」というところでしょうか。その経緯については、また改めてお話する予定です。

新米教師のつぶやき

物心がついた頃から、「将来の夢は?」と聞かれれば「教師」と即答していたほど、ずっと教師になりたいと思っていました。大学4年生のときには、英語科の教員免許取得のため、母校の高校で教育実習を行いました。毎日が楽しくて仕方なかったのを今でもハッキリ覚えています。まさか日本語の教師になるとは夢にも思っていませんでしたが、自分のやりたいことにまっすぐ進むのが1番だなあと思う今日この頃です。

とはいえ、「日本語を教えることを仕事にしたい!」と思っただけで内定を辞退した私は、4月からの予定も身分も白紙になりました。今、改めて文字にしてみると、なかなかとんでもないことをしていたことに驚きを隠せません(汗)。ですが、いろいろとラッキーが重なり、日本語学校で日本語を教える機会と日本語教育に関連した業務を担当させていただくことになりました。今、振り返ると、私の2024年は毎日が新鮮で、濃密な時間でした。

今年の5月からは、日本語教師生活も日本語教育関連業務も2年目を迎えました。そんなある日、本研究科にてサブコースの運営をしてくださっている石川慎一郎先生より「ニュースレター、書いてみない?」とお声かけいただき、この企画が開始する運びとなりました。飽き性の私がニュースレターを書き続けられるのか早くも行き先が不安でしかないのですが、日本語教師×学生(D)×支援員の3足の草鞋を履きながら、毎日、日本語・日本語教育ライフにどっぷり浸かっている私なりに、日本語教育に関する様々な話題を連載していきます。よろしくお願いします。

事務室の紹介

普段の業務は、神戸大学国際文化学研究科(鶴甲第1キャンパス)のA棟302で行なっています。ご質問やご相談などありましたら、いつでもお気軽にお越しください。ただ、窓がないので長居はおすすめできません……。



←教育実習の最終日に生徒からもらった寄せ書き

